



国道274号日勝峠の通行止めを解除しました！

平成28年8月30日からの台風10号の影響により通行止めとしていた国道274号日勝峠区間（日高町千栄～清水町清水 延長36.1km）について、平成29年10月28日（土）13時に通行止めを解除しました。また、通行止め解除に先立ち、現地説明会・除雪出陣式を実施しました。通行止め解除後も、しっかりと道路の維持管理を行い、道路利用者の安全・安心の確保に努めて参ります。



位置図



● 復旧状況

台風による被災後、被害箇所の調査が行われ、復旧に向けての各種検討などが行われました。そして復旧工事が急ピッチで行われました。



復旧工事の様子

● 現地説明会

通行止め解除に先立ち、報道機関を対象に、①千栄地区大規模損傷、②室蘭側日勝峠 6合目大規模崩壊、③三国の沢覆道損傷箇所の復旧完了状況を公開しました。



復旧完了状況について説明
(日高道路事務所高田所長)

● 除雪出陣式

降雪期を迎えるに当たり、冬期間道路交通の安全確保及び作業の安全を図るため、除雪機械を各除雪基地へ配備し除雪体制を整えることに併せて、除雪出陣式を開催しました。



(上) 除雪機械
(右) 訓示を受ける関係者

● 通行止め解除

通行止めの看板やバリケードを撤去し、約1年2ヶ月ぶりに通行止め解除となりました。列を作っていた乗用車やトラック約120台が関係職員が見送るなか走り出しました。



通行止め解除を待ち望む車列



解除直前！バリケードを撤去

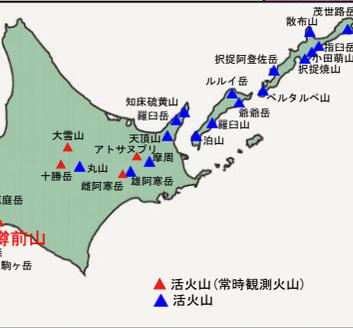
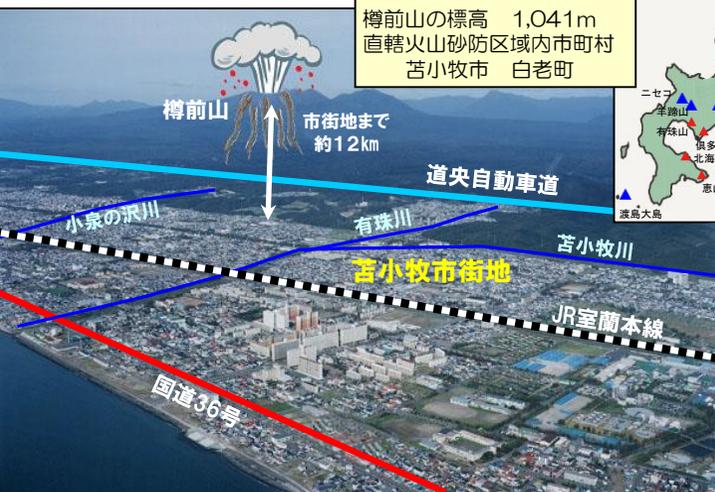


【千栄地区大規模欠損箇所】
復旧後を通行する車両

樽前山直轄火山砂防事業の取組

樽前山はどんな山？

- ◇樽前山は、毎年多くの観光客が訪れますが、火山噴火予知連絡会が選定した常時観測火山（全国50火山のうち北海道は9火山）の1火山です。
- ◇昭和53年（1978）の小規模噴火後も火口原の温度上昇や地震群発、降灰が続き、平成15年（2003）から噴煙活動が活発化しており、平成25年（2013）には火山性地震、微動が確認されています。
- ◇山麓には、北海道の中核都市である苫小牧市の市街地が広がり、新千歳空港・苫小牧港・苫小牧臨海工業地帯やJR室蘭本線・道央自動車道・国道36号などの物流拠点や重要交通網が集中している交通、物流の要衝です。



直轄火山砂防事業の取組



- ◇樽前山の火山活動、降雨に起因して発生する土砂災害より周辺地域を保全し、人命・財産・公共施設等を守ることを目的として、平成6年度から直轄火山砂防事業に着手し、現在は寛生川で砂防えん堤の整備を進めています。
- ◇融雪型火山泥流及び降灰後の降雨による泥流は、砂防えん堤や遊砂地に貯め（ハード対策）、関係機関への避難支援や情報提供（ソフト対策）を併せて行います。

2017 火山砂防フォーラム



活火山である樽前山で起こった過去の噴火や土砂災害、行政が推進してきた火山砂防事業や火山噴火対策について、樽前山の恵みや地域の防災体制などを再認識し、樽前山周辺や北海道、全国の火山地域における砂防事業や防災対策のあり方について意見交換を行うため、苫小牧市において火山砂防フォーラムが開催されました。

やわらかい地盤でも施工が可能、鋼製セル型えん堤を採用

【研究発表】
自主防災組織（町内会）の皆さんがこれまでの防災学習会の成果を発表しました。



【パネルディスカッション】
今後の火山防災の方向性について、関係機関と地域の代表が意見交換を行いました。



【北海道大学の学生による模型実験】
氷と土砂と熱湯で融雪型火山泥流を再現し、砂防施設の効果を説明しました。



【現地研修会】
室建職員から、砂防事業の概要、鋼製セル型えん堤の構造や利点を説明しました。

